

第10回DIAクリニカルオペレーション・モニタリングワークショップ

その先の世界に向けて我々は進化／深化できているか？
—真価が問われるオペレーション—

2022年7月28日(木)～29日(金) + 30日(土) 特典企画スペシャルディスカッション
ハイブリッド開催 | 国際ファッショセンター(両国) およびオンライン(Zoom)
7月30日(土)はオンラインのみ

プログラム委員会

プログラム委員長

PRAヘルスサイエンス株式会社

松田 幸大

プログラム副委員長

中外製薬株式会社

山内 美代子

プログラム委員

株式会社アイロムグループ

原 寿哉

神戸大学医学部附属病院

五百蔵 武士

第一三共株式会社

石橋 寿子

ファイザーR&D合同会社

岡田 久美子

アステラス製薬株式会社

岡田 俊之

EPSインターナショナル株式会社

小野崎 千晴

田辺三菱製薬株式会社

渋澤 智

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構

下野 航

ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社

内田 正志

東京大学医学部附属病院

渡部 歌織

MSD株式会社

山崎 大路

プログラムアドバイザー

ファイザーR&D合同会社

稲泉 恵一

DIA Japan COM Community Lead

中外製薬株式会社

飯島 雅之

DIA Japan Operation Team

筑波大学 つくば臨床医学研究開発機構

濱崎 奈々子

第一三共株式会社

加藤 知紀

エドワーズライフサイエンス株式会社

川崎 史貴

国立がん研究センター 中央病院

佐々木 哲哉

アヴヴィ合同会社

武内 千晶

DIA volunteers, members, and staff provide a comprehensive catalogue of conferences, workshops, training courses, scientific publications, and educational materials, throughout the year, all around the world.

[DIAglobal.org](https://www.dia-global.org)

概要

今年、第10回の節目を迎えるクリニカルオペレーション・モニタリングワークショップでは、“その先の世界に向けて我々は進化／深化できているか？—真価が問われるオペレーション—”をテーマに、みなさまと活発な議論を交わせるコンテンツを用意しました。

「医薬品の臨床試験の実施に関する省令」が施行されて25年、「国際共同治験に関する基本的考え方について」が発出されて15年、FDAから「Oversight of Clinical Investigation-Risk Based Approach to Monitoring」が発出されて約10年がすでに経過し、2020年からのCOVID-19環境を経てオペレーションを取り巻く変革の波は年々増し続けています。

しかし、これまでのオペレーションのあゆみを振り返るとき、「臨床試験の複雑さに対応できるだけのシンプルさ／効率性を獲得するオペレーションの進化を遂げられてきたのだろうか」「GCP以降に生まれたCRAなどの各職種は時代の変化に適応したプロフェッショナルリズムを深化(理解、獲得、実践)してきたのだろうか」との思いがよぎる場面に遭遇することはないでしょうか。

今後、臨床試験のさらなる多様性、新たなコモディティ(治療法)の登場など、オペレーションを取り巻く環境は、我々に一層の変革を求めてきます。そのような中、オペレーションの進化／深化を達成し世界の潮流にのり続けていくために、各自が認識を新たに取り組むもの、オールジャパンで改革に取り組むものなど、様々な議論を提供できる契機になればと考えています。

また、本年もワークショップ参加者と医療機関の方々を対象としたスペシャルディスカッションを3日目に開催します。それぞれの本音を語り、相手を理解できるDIAならではの機会として昨年も好評を頂きました。各セッションと共にこちらの機会も楽しみにご参加ください。

本ワークショップは日本語で開催いたします。

COVID-19対策については[こちら](#)をご確認ください。

ランチョンセミナー申込受付中

詳細については、ディー・アイ・エー ジャパンまでお問い合わせください。

DIA

DIA Japan

Nihonbashi Life Science Building 6F,

2-3-11 Nihonbashihoncho, Chuo-ku, Tokyo 103-0023 Japan

Tel: +81.3.6214.0574 Fax: +81.3.3278.1313 Email: Japan@DIAglobal.org

Drug Information Association

Global Center: Washington, DC | Americas | Europe, Middle East & Africa | China | Japan | India

1日目: 2022年7月28日(木)

9:00-11:30 チャットセッション受付

9:30-11:30 チャットセッション

小グループでのカジュアルなディスカッションを通して、医薬品開発に関わる方たちとの本ワークショップのセッションの掘り下げ、情報共有等ネットワーキングの場を提供します。以下のセッションテーマの中からご希望のものをお選びください。

- 1) ICH-E8 (R1) が今後のクリニカルオペレーションへ及ぼす影響
- 2) Risk Based Approachの思想はどこまで浸透しているか?
～医療機関のプロセスにアプローチしたモニタリングができていますか?～
- 3) ベンチマーク型コストの国内導入
～医療機関および企業の取り組み紹介～
- 4) De-centralized Clinical Trialの実装
～Clinical Operationとしての経験～
- 5) 新たなデジタル技術を用いたモニタリング業務の効率・品質の向上
- 6) Effective Patient Recruitment: 症例集積性向上への挑戦
- 7) 試験立ち上げ業務の効率化 – Start-up timeline短縮に向けた取り組み
- 8) 治験依頼者とCROの協働

こちらからお申込みください。

ファシリテーター:

中外製薬株式会社

飯島 雅之

DIA Clinical Operation・Monitoring Community members

11:30-13:00 ランチブレイク/企業プレゼンテーション

11:35-11:55 ランチオンセミナー 1: Activaaid Inc.

12:35-12:55 ランチオンセミナー 2: MICIN Inc.

13:00-13:15 開会の挨拶

DIA Japan

西條 一

プログラム委員長/PRAヘルスサイエンス株式会社

松田 幸大

13:15-14:15 セッション1

ICH-E8 (R1) が今後のクリニカルオペレーションへ及ぼす影響

ICH-E8 (R1) については、昨年step 4に到達し、国内実装に向けて着々と準備が進められている。本セッションでは、ICH-E8 (R1) の概要を紹介するとともに、ICH-E8 (R1) がクリニカルオペレーションの観点において、治験がどのように変化していくか、あるいは、治験に携わる我々がどのようなことに留意していくべきか等について、PMDA及び製薬企業の立場からご講演いただく。講演ではICH-E8 (R1) の特徴の一部でもあるQuality by Design、Patient Centricity等にも言及する予定である。本セッションが、今後の治験の方法論についてあらためて考える機会となれば幸いです。

座長:

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構

下野 航

中外製薬株式会社

山内 美代子

ICH E8改訂を踏まえて(仮)

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 安全対策部

伊熊 睦博

治験のオペレーションはどのように変わっていくか?

ファイザーR&D合同会社

小宮山 靖

14:15-15:15

セッション2

RISK BASED APPROACHの思想はどこまで浸透しているか?
～医療機関のプロセスにアプローチしたモニタリングができていますか?～

ICH-E6(R2)施行によりRBAの思想が示され、依頼者においても「医療機関のプロセス確認」が重要視されるようになった。医療機関のプロセス確認のためCRAの作業量は増えたが、果たして医療機関のプロセスに対して適切なモニタリングができていのだろうか。本セッションでは、院内プロセスを構築し、モニタリングを受ける側である医療機関の意見も取り入れながら、我々(依頼者・CRO)が目指している「プロセスをモニタリングする」とは何なのかを改めて考えていく。

座長:

田辺三菱製薬株式会社

渋澤 智

EPSインターナショナル株式会社

小野崎 千晴

医療機関側から見たプロセスアプローチの現状と今後の展望

帝京大学医学部附属病院

森山 菜緒

医療機関のプロセスに着目したモニタリング手法の検討

ノバルティスファーマ株式会社

中村 里絵

塩野義製薬株式会社

菅沼 佑美

パネルディスカッション

本セッションの講演者および

株式会社アイロム

佐々木 智子

田辺三菱製薬株式会社

小関 尊弘

15:15-15:45

コーヒブレイク/展示ブース紹介

15:45-16:45

セッション3

ベンチマーク型コストの国内導入

～医療機関および企業の取り組み紹介～

治験費用算定については、国内では20年以上に亘りポイント表が利用されている一方、海外ではFAIR MARKET VALUEに基づくベンチマーク型コスト算定(以下BC)が標準である。近年、複雑な試験デザインや新たな技術・手法の導入が進む中でポイント算定の継続はクリニカルオペレーション上の課題となりつつあることから、治験依頼者・医療機関・SMO が協力してBCを試行導入する事例が増えている。本セッションでは、国内の治験関係者が速やかにBCの導入を検討できるよう、先行事例から得られた経験やナレッジを学び、課題と解決の方向性を議論する。

座長:

アステラス製薬株式会社

岡田 俊之

ファイザーR&D合同会社

稲泉 恵一

TBD

日本イーライリリー株式会社

山田 健太

TBD

国立病院機構仙台医療センター

矢田 充男

パネルディスカッション

本セッションの講演者および

国立病院機構本部

近藤 直樹

株式会社アイロムグループ/日本SMO協会政策委員会

村上 隆太

16:45-18:15

セッション4

DE-CENTRALIZED CLINICAL TRIALの実装 ～CLINICAL OPERATIONとしての経験～

DE-CENTRALIZED CLINICAL TRIAL (来院に依存しない治験、以下DCT)は、米国を中心に世界的に導入されつつある。一方日本では、医療環境の違いなどからなかなか実装されなかったが、COVID-19の影響により必要に迫られる形で一部の試験で導入が見られた。しかし、本来的な目的・手段としてのDCTを組み込んだ事例は報告も少なく、本邦ではまだ本格実装と言える段階には来ていない。本セッションでは、日本の治験での導入や海外でのDCTを日本から管理した経験、検討を進めている企業のビジョン、医療現場での対応等を共有し、パネルディスカッションを通じて、日本におけるDCT導入拡大の一助になればと考えている。

座長:
ファイザーR&D合同会社

岡田 久美子

株式会社アイロムグループ

原 寿哉

DCTの国内現況に関して(仮)

株式会社MICIN

松永 拓真

国内試験でのECONSENT導入を通じた学びと、DCTの実践に向けた取り組み(仮)

中外製薬株式会社

北浦 倫生

TBD

アステラス製薬株式会社

岩花 未央子

大阪大学医学部附属病院におけるDCT導入相談を受けた事例に関して(仮)

大阪大学医学部附属病院

一條 佐希子

パネルディスカッション

本セッションの講演者および

クリニカルリサーチ東京病院

深瀬 広幸

2日目: 2022年7月29日(金)

9:00-10:00

セッション5

新たなデジタル技術を用いたモニタリング業務の効率・品質の向上

政府の骨太の方針にも掲げられているように近年、さまざまな分野でデジタルトランスフォーメーション(Dx)が謳われている。

クリニカルオペレーション分野においても新しい技術を用いた臨床試験の効率化や品質の向上は重要な課題となっている。

本セッションでは、モニタリング業務の中でCRAが多くの時間を要している直接閲覧、ならびに文書作成業務にフォーカスし、各々の業務を新たな技術を用いて効率化、品質向上の取り組みを行っている事例を紹介する。

今後、デジタル技術とモニタリング業務の更なる融合の可能性を模索したい。

座長:
MSD株式会社

山崎 大路

東京大学医学部附属病院

渡部 歌織

ブロックチェーン技術を用いたモニタリング手法の試み

東京医科歯科大学

桑原 宏哉

「臨床試験の効率化～ドキュメントの概念を変える取り組み～」

CMIC株式会社

近藤 良仁

「臨床試験の効率化～ドキュメントの概念を変える取り組み～」

CMIC株式会社

長谷川 哲平

10:00-10:30

コーヒーブレイク/展示ブース紹介

10:30-11:45

セッション6

Effective Patient Recruitment: 症例集積性の向上への挑戦

希少疾患や癌の治験では、日本での症例数を確実に登録するために多くの治験実施施設が参加することが少なくない。これについては、少数例を登録する実施施設が増えることで施設を立ち上げる人的・時間的リソースが増え、他国との症例集積性や効率性に差が出るのが懸念されている。これが常態化すると日本の治験参加機会が減り、患者さんへ治療薬の提供が遅れることになりかねない。

当セッションでは症例集積性を高める手段(選択肢)とその経験、今後のチャレンジを共有し、今後の試験で症例集積性を高める参考にして頂きたい。

座長:

ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社

内田 正志

神戸大学医学部附属病院

五百蔵 武士

MSD株式会社

山崎 大路

TBD

TBD

TBD

進化した被験者リクルートメントの在り方

～サテライトサイト活用と、エリアマネジメント～

株式会社BUZZREACH

井上 忠

レジストリ、臨床研究ネットワークを用いた希少疾病を対象とした症例集積性向上策

国立精神・神経医療研究センター

小牧 宏文

パネルディスカッション

本セッションの講演者

11:45-13:15

ランチブレイク/企業プレゼンテーション

11:50-12:10 ランチオンセミナー 3: TBD

12:50-13:10 ランチオンセミナー 4: TBD

13:15-14:45

セッション7

治験立ち上げ業務の効率化

—START-UP TIMELINE短縮に向けた取り組み—

治験依頼者のみならず医療機関にとっても、一連の治験業務における立ち上げ期は、最も負荷の大きい時期ではないだろうか。業務は膨大であるが、時間、予算、人員には限りがあり、更にフィジビリティ調査やエントリープランの精度、対象疾患やプロトコルに関する関係者間の情報すり合わせ、被験者保護など、考慮しなければならない点は多い。本セッションでは治験立ち上げ時に律速となりがちなるプロセスについて、課題を確認するとともに、タイムライン短縮に向けた取り組みを実例に基づいて示し、今後を見据えた課題解決の緒を見出すディスカッションとした。

座長:

株式会社アイロムグループ

原 寿哉

ファイザーR&D合同会社

岡田 久美子

治験立ち上げ業務を効率的に行うためのヒント

-DIA COM Communityでの議論を踏まえ-

田辺三菱製薬株式会社

津田 英高

臨床試験のSite Feasibility調査における新たなアプローチ

IQVIAサービシーズジャパン株式会社

藤田 篤

Japan ICF Common Templateの紹介(仮)

R&D HEAD CLUB JAPAN COMMON ICF TEMPLATE TASK TEAM /

日本イーライリリー株式会社

西川 心

医療機関での治験立ち上げ業務プロセスと改善事例

学校法人 日本医科大学

松山 琴音

パネルディスカッション

本セッションの講演者

14:45-15:15

コーヒーブレイク / 展示ブース紹介

15:15-16:30

セッション8

治験依頼者とCROの協働

治験依頼者がCROに業務委託することが通常となって久しいが、未だ両者の協働が完全に上手くいっているという状況には至らない。本WORKSHOPでも、これまでにCROとの協働をテーマに取り扱ってきたが、次々と環境変化しているクリニカルオペレーションにおいて、求められる協働の在り方も変わってきているのではないだろうか。本セッションでは、今だけでなく今後も求められる協働の在り方について、会社間パートナーシップ(組織)についてだけでなくオペレーションの人材育成(個)まで幅広く議論していく。

座長:

EPSインターナショナル株式会社

小野崎 千晴

プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

内田 正志

パネルディスカッション

IQVIAサービシーズジャパン株式会社

池田 裕人

塩野義製薬株式会社

市橋 健樹

ファイザーR&D合同会社

有働 建史

エイターヘルスケア株式会社

吉見 尚人

16:30-16:45

ショートブレイク

16:45-17:30

セッション9

総合討論

TBD

座長:

PRAヘルスサイエンス株式会社

松田 幸大

中外製薬株式会社

山内 美代子

17:15-17:30

閉会の挨拶

プログラム副委員長/中外製薬株式会社

山内 美代子

3日目:2021年7月30日(土)**特典企画:
CRCと治験依頼者側とのスペシャルディスカッション**

座長:

東京大学医学部附属病院

渡部 歌織

第一三共株式会社

石橋 寿子

施設側の質の確保や生産性向上に向けた活動の実際を紹介していただき、その後いろいろな話題でディスカッションを行います。施設側と治験依頼者側が本音で意見交換できるチャンス!奮ってご参加ください。

事前登録制

こちらからお申し込みください。7月29日(金)19時まで

(CRC/事務局の皆様は無料ご招待、DIA1.2日目参加の皆様も無料)

参加資格

- ・第10回DIA クリニカルオペレーションワークショップに参加の皆さま
- ・CRC及び治験事務局(医療機関・SMO問いません)のすべての皆さま

DIA参加体験企画

CRC・事務局の皆さまへのDIA参加体験企画としてこの3日目のスペシャルディスカッションには無料ご招待。

プログラム

9:00 ~ 9:10 開会の挨拶、本日の流れ紹介

9:10 ~ 10:20 第一部

施設側の頑張っている取り組み紹介

1. 本気のエンロールコミットメント その後

国立病院機構 大阪医療センター

名畑 優保

2. 少人数で効率的に試験をマネジメント

-電子カルテの最大活用の実例-

公立学校共済組合 中国中央病院

松本 美保

3. 英語でSAE報等をタイムリーに作成するためのTips

JA静岡厚生連遠州病院 治験管理室

鈴木 かおり

コメンテーター

福岡市立こども病院

仲島 しのぶ

複数のCRCの皆様

4. パネルディスカッション

・効果的なリクルートメント方法

・プロセス構築や改善等の考え方

・EDCをタイムリーに入力するためのTIPS

・SAEの対応での工夫

・英語の対応方法について 等

10:20 ~ 10:35 休憩

10:35 ~ 12:20 第二部

10:35 ~ 11:20 **施設側と治験依頼者側のざっくばらんな****小規模グループ意見交換会(1)**

自由なディスカッション事例)

・仕事をする中で「この人できる人だ!」と思った

エピソードや「心がほんわかした」エピソード

・自身の仕事の醍醐味

・医療機関サイドからみた依頼者・CROの姿と謎、

依頼者・CROからみた医療機関の姿・謎

・たくさんの依頼者または施設と接する中で感じること、

他施設・他依頼者におすすめてほしいと思った取り組み

・医師の治験への意識を高めていく方策は?

・最近のCRAの役割って昔と違うの?、CRCは?

・うちの施設費用高いと思う?フェアマーケットバリュー

とか、ベンチマークコストとか費用のことどう思う?

・医療機関側・依頼者側と双方協力して行いたいと

思う点 他

11:20 ~ 11:30 休憩

11:30 ~ 12:10 **施設側と治験依頼者側のざっくばらんな****小規模グループ意見交換会(2)**

12:10 ~ 12:20 総合ディスカッション

(グループで話されたことを共有)

12:20 ~ 12:30 DIAの紹介 (COMMUNITY活動を中心に)

12:30 ~ 12:40 閉会の挨拶

会議参加申込書

一般社団法人ディー・アイ・エー・ジャパン

Fax:03-3278-1313

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-3-11
日本橋ライフサイエンスビルディング6F

Tel: 03-6214-0574

第10回DIAクリニカルオペレーション・モニタリング ワークショップ

[カンファレンスID #22307]

2022年7月28日-30日 | ※ハイブリッド開催:KFC(国際ファッションセンター:両国)/Web、7月30日(土)はWeb会議のみ

◆ 参加申込方法

DIAウェブサイト(www.DIAglobal.org)よりお申し込みいただくか、この申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはメール添付Japan@DIAglobal.orgにてお申し込みください。受理後、10営業日以内にEメールにて申込受領書を送付いたします。尚、チャット・セッションは別途お申込が必要になります。*任意参加、事前登録制。申込締切 2022年7月27日(水)、登録後に担当者よりお送りする参加申込受領書メール(Confirmation Mail)に記載のURLからお申込ください。

◆ 参加費用 (該当する□にチェックしてください)

会員資格が失効している方および非会員の方は、会員登録(更新)することにより、会員価格にてご参加いただけます。会員資格はお支払いいただいから翌年同月末まで1年間有効です。DIA各種機関紙の入手、DIAウェブサイトの会員専用ページへのアクセス等、種々の特典も得られます。不明な点がございましたら、ディー・アイ・エー・ジャパンまでお問い合わせください。

①年会費 現在会員でない方で、会員登録をされる場合は希望する年会費の欄に印を入れてください。

*参加費の早期割引価格は現会員の方または会員登録と同時に申し込みされる方のみ適用されます。

会員資格が失効している方および非会員の方は、ぜひこの機会にぜひご登録ください。

**アカデミア会員資格にお申し込みの方は、本申込書をディー・アイ・エー・ジャパンまでFAXもしくはメールにてお送りください。

Membership (有効期間:1年間)	<input type="checkbox"/>	¥ 22,000 (税込)
2-Year Membership (有効期間:2年間/10%割引)	<input type="checkbox"/>	¥ 39,600 (税込)
Academia Membership ** (対象:大学関係・医療従事者、有効期間:1年間)	<input type="checkbox"/>	¥ 15,180 (税込)
Academia Membership ** (対象:大学関係・医療従事者、有効期間:2年間/10%割引)	<input type="checkbox"/>	¥ 27,280 (税抜)

②参加費 所属カテゴリーと会員資格の有無により異なりますので、該当欄に印を入れてください。

会員	一般	*早期割引 2022年7月6日までのお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 54,000 (税込)
		2022年7月7日以降のお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 61,000 (税込)
政府関係/ 非営利団体	政府関係/ 非営利団体	*早期割引 2022年6月6日までのお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 29,000 (税込)
		2022年7月7日以降のお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 33,000 (税込)
大学関係/ 医療従事者	大学関係/ 医療従事者	*早期割引 2022年7月6日までのお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 22,000 (税込)
		2022年7月7日以降のお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 25,000 (税込)
非会員	一般	<input type="checkbox"/>	¥ 83,000 (税込)	
	政府関係 / 非営利団体	<input type="checkbox"/>	¥ 55,000 (税込)	
	大学関係 / 医療従事者	<input type="checkbox"/>	¥ 40,180 (税込)	

③合計金額(①+②):

合計 _____ 円

*最終確定金額はDIA Japanからお送りする受領書メールにてご確認ください。

日本SMO協会会員

日本CRO協会会員

※日本SMO協会、日本CRO協会の会員の方は、会員価格にてご参加いただけます。□にチェックしてください。

◆ お支払方法

ご希望の支払方法にチェックを入れてください。

[支払方法] 銀行振込 請求書を送付しますので、その案内に従って振り込み手続きを行ってください。

クレジットカード 使用可能クレジットカード(どちらか1つにチェック) VISA MasterCard JCB

カード有効期限(mm/yy) _____

カード番号 _____

カードご名義 _____

ご署名 _____

ご入金の際は、ご依頼人の欄に必ず参加者名および会社名を記載してください。同一会社で複数名の参加費を同時に振り込まれる場合は、書面にて参加者名と振込日をディー・アイ・エー・ジャパンまでお知らせください。振込に関する手数料は、振込人負担をお願いいたします。

アルファベット(英語)でご記入ください

Last Name (姓) Dr. Mr. Ms. First name (名) Company

Job Title Department

Address City State Zip/Postal Country

email (必須) Phone Number (必須) Fax Number

*参加のキャンセルは、お申し込み受理後、2022年6月28日までは手数料として一般会員・非会員とも20,000円、政府/大学関係者については会員・非会員とも10,000円を申し受けます。それ以降のキャンセルについては参加費全額を申し受けますのでご注意ください。同一会社からの参加変更は可能ですが、その際は早急にディー・アイ・エー・ジャパンまでお知らせください。(会員資格の譲渡はできませんので、非会員としての参加費を申し受ける場合があります。) 参加をキャンセルされる際には、必ず書面にてディー・アイ・エー・ジャパンまでご連絡願います。会場は変更される場合がありますので予めご了承ください。

*DIA主催の会議には、必ず登録者ご本人にご参加いただくよう、お願いしております。

【DIAが取り扱う個人情報について】 お申し込みいただいた個人情報はDIAからの会議案内送付等の目的に使用させていただきます。また当日は、ご参加いただく皆様の会社名または組織名とご氏名を記載したリストを参加者・講演者・関係者(プログラム委員)に限り配布する場合があります。本申込書の提出をもって以上の個人情報のお取り扱いにご同意いただいたものと解釈いたしますが、ご同意いただけない場合はDIA Japanまでご連絡ください。

第10回 DIA クリニカルオペレーション・モニタリングワークショップ #22307

2022年7月28日(木)-30日(土) ※ハイブリッド開催:KFC(国際ファッションセンター:両国)/Web、7月30日(土)はWeb会議のみ

◆参加申込方法

本申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはメール添付Japan@DIAGlobal.orgにてお申し込みください。受理後、10営業日以内にEメールにて申込受領書を送付いたします。

◆参加費用(該当するqにチェックしてください)

会員資格が失効している方および非会員の方は、会員登録(更新)することにより、会員価格にてご参加いただけます。会員資格はお支払いいただいてから翌年同月末まで1年間有効です。また、DIA各種機関紙の入手、DIAウェブサイトの会員専用ページへのアクセス等、種々の特典が得られます。

不明な点がございましたら、ディー・アイ・エー・ジャパンまでお問い合わせください。本会議の参加申し込みは日本年会当日も受け付けています。

①年会費

非会員の方及び会員資格が失効している方で、会員登録をされる場合は希望する年会費の欄に印を入れてください。

* 早期割引価格は、現会員の方または会員登録と同時に申し込みされる方のみに適用されます。会員資格が失効している方及び非会員の方は、ぜひこの機会にご登録ください。

Membership(有効期間:1年間)	<input type="checkbox"/>	¥22,000(税込)
2-Year Membership(有効期間:2年間/10%割引)	<input type="checkbox"/>	¥39,600(税込)

DIA Japan 使用欄 (w10)	
Date	
No.	
受領書送付	
Invoice	
入金	

②若手割引参加費

所属カテゴリと会員資格の有無により異なりますので、該当欄に印を入れてください。

若手割引は申込時点で35歳以下の方が対象となります。下欄に生年月日をご記載下さい。

		通常		若手割引
会員	一般	*早期割引(2020年6月25日までのお申込み)	¥54,000(税込)	<input type="checkbox"/> ¥43,200(税込)
		2020年6月26日以降のお申込み	¥61,000(税込)	<input type="checkbox"/> ¥48,800(税込)
非会員			¥83,000(税込)	<input type="checkbox"/> ¥66,400(税込)

③合計金額(①+②):

合計 _____ 円

※最終確定金額はDIA Japanからお送りする受領書メールにてご確認ください。

生年月日(必須)

西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日

なお、登録に際し、身分証を確認させていただく場合がございます。ご了承ください。

※日本SMO協会、日本CRO協会の会員の方は、会員価格にてご参加いただけます。 にチェックしてください。 日本SMO協会会員 日本CRO協会会員

◆お支払方法

ご希望の支払方法にチェックを入れてください。

[支払方法] 銀行振込 請求書を送付しますので、その案内に従って振込手続きを行ってください。 クレジットカード 使用可能クレジットカード(どちらか1つにチェック) VISA MasterCard JCB

カード有効期限(mm/yy) _____

カード番号 _____

カードご名義 _____

ご署名 _____

ご入金の際は、ご依頼人の欄に必ず参加者名および会社名を記載してください。同一会社で複数名の参加費を同時に振り込まれる場合は、書面にて参加者名と振込日をディー・アイ・エー・ジャパンまでお知らせください(会員資格の譲渡はできませんので、非会員としての参加費を申し受ける場合があります。)参加をキャンセルされる際には、必ず書面にてディー・アイ・エー・ジャパンまでご連絡願います。

アルファベット(英語)でご記入ください

Last Name (姓) q Dr. q Mr. q Ms.	First name (名)	Company
Job Title	Department	
Address	City	State
	Zip/Postal	Country
Email (必須)	Phone Number (必須)	Fax Number

* 参加のキャンセルは、お申し込み受理後、2022年6月28日までは手数料として一般会員・非会員とも20,000円、政府/大学関係者については会員・非会員とも10,000円を申し受けます。それ以降のキャンセルについては参加費全額を申し受けますのでご注意ください。同一会社からの参加変更は可能ですが、その際はお早めにディー・アイ・エー・ジャパンまでお知らせください(会員資格の譲渡はできませんので、非会員としての参加費を申し受ける場合があります。)参加をキャンセルされる際には、必ず書面にてディー・アイ・エー・ジャパンまでご連絡願います。

* 本年会では、DIAの宣伝活動に使用する目的で、開催期間中に参加者を含む会場内の映像・写真を撮影することがあります。本年会の参加者は、DIAが記録した映像・写真等について、DIAの宣伝資料、出版物及びインターネット等への掲載その他一切の利用に係る権利(肖像権、パブリシティ権等を含みます)はDIAに帰属することを認め、DIAが無償で任意に利用できることを許諾するものとします。

* DIA主催の会議には、必ず登録者ご本人にご参加いただくよう、お願いしております。

【DIAが取り扱う個人情報について】 お申し込みいただいた個人情報はDIAからの会議案内送付等の目的に使用させていただきます。また当日は、ご参加いただく皆様の会社名または組織名とご氏名を記載したリストを参加者・講演者・関係者(プログラム委員)に限り配布する場合があります。本申込書の提出をもって以上の個人情報のお取扱いにご同意いただいたものと解釈いたしますが、ご同意いただけない場合はDIA Japanまでご連絡ください。